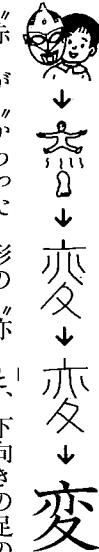


変

四年
画数 9
筆順 一 オ 亦 亦 変
ワン かIIえるIIわる

成り立ち



「赤」が「かわった」形の「亦」と、下向きの足の形を表した「タ」とを組み合わせた字です。

色は時がたつにつれてあせて行きます。赤い色も白っぽくなり、「ピンク色」になります。「亦」はピンク色を表したと見ることができます。「タ」は「時がたつて行く」意味です。時がたつにつれて「色がかかる」ことを表した字です。「かわる」という意味に使われます。**例変化**、**色遷**、**変動**。

「ふつうと変わっている」という意味にも使います。

例変人、変種。

また、「異常な出来事」の意味に使われます。**例事変、異変。**

△季節が移り変わって行くにつれて、周囲の景色も変化します。春は桜が咲き、道ばたの草にも小さな花が咲き出します。夏は緑の色が濃くなります。秋は木の葉が赤や黄色に変わります。そして冬になると木の葉が落ちて、あたり一面銀世界に変化するのです。

△ぼくは変人奇人が好きです。人と変わったことを言つたりやつたりするのは、とてもおもしろいことです。あたりまえの人ではつまりません。こんなぼくも、やはり変わり者なのでしょうか。

熱語例

△変化（変わること。違つた状態になること。）

△変遷（移り変わること。移り変わり。時代の変遷とともに、風俗や習慣も変化したなどというふうに、つかいます。）

△変動（変化し、動くこと。また、世の中に事件があるて騒がしいことにもつかいます。「地殻の変動に伴つて、地形が変化する」などというふうに、つかいます。）

△変人（変わった人）

△事変（異常な出来事。事件）

便

四年
画数 9
筆順 オン 一 仁 便 便 便
ワン ベン・ビン
たよりり

成り立ち



「テープル」の形を表した「田」と、手の形を表した

「又」と、「イ」とを組み合わせて作った字です。

テーブルに手をかけることを表した「更」は、「テーブ

ルを新しいものと取りかえる」ことを表していて「新し

いものに変える（変更）」の意味の字です。新しいものに

かえることは人にとって「都合がよい」のですから「便

は「都合がよい」という意味を表しました。**例便利、便**宜、不便、便乗、便覧。

「手紙」の意味にも使います。**例郵便、便り。**

また、「大便」、「小便」という使い方もあります。

△「便」の熱語例

△むかしにくらべて、今の生活は大変便利になりました。旅をするにも、むかしは歩いたり、せいぜい馬に乗つたりする位で、とても不便なものでした。今は新幹線が走っている時代です。何といっても、現代に生まれたわたしたちは幸いです。

△北海道にひっこして行つた友だちに手紙を書きました。「便りをちょうどいいね」と、友だちが言つたからです。きっと返事が来ると思うので、毎日、郵便受けをのぞいています。

△便利（都合がよいこと。また、役に立つことの意味にもつかいます。「この七つ道具は、とても便利だ」などとあります。）

△便宜（都合のよいこと。「相手の便宜を図つてやる」などというふうに、つかいます。）

△不便（都合が悪いこと。）

△便乗（ついでに車などに乗せてもらうこと。また、機会にうまく乗ずること。「便乗値上げ」などというふうに、つかいます。）